



大和川河川事務所の事業や取り組み状況をお知らせします

イオンモール大和郡山でイベント開催！

～～大和川流域治水啓発イベントを開催しました～～

奈良県内のイオンモール大和郡山で流域治水啓発イベントを開催しました！
イベントではブースを回るスタンプラリーを実施し、大和川の流域治水を学んでもらいました。
8月4日(日)～5日(月)の2日間で599人の方にご参加いただきました。



流域治水模型での実験

奈良県の大和川流域を立体的に表した模型で、流域治水対策のある時とない時で、水被害がどれだけ減るか視覚的に体験してもらいました



流域治水の紹介動画



大和川流域番地

大和川のどこにいるのか分かるサイト(大和川流域番地)で、お住いの近くの川の名前と大和川とのつながりを知ってもらいました



マイタイムライン(避難計画)の作成

小学生向けに、夏休みの自由研究としても使える避難計画作成キットを活用し、水災害への理解や避難計画を作成してもらいました



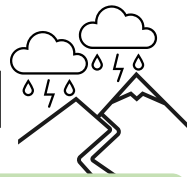
小学生向けの
避難計画作成キット



参加者に進呈した
自分のできる流域治水グッズ

参加者の感想

- とても分かりやすかったです。一人一人の心がけが大切だということが分かりました。ありがとうございました。
- 今まで、災害とは無関係な感じだったが、これからは考えていこうと思う。なかなか面白かったです。
- 模型がとても分かりやすくイメージしやすかった。



【大雨による浸水被害の拡大を抑制するために】

全国で初めて大和川流域で貯留機能保全区域が指定されました！！

7月30日(火)に奈良県川西町唐院(とういん)地区・田原本町西代(にしんだい)地区において、地元住民協力のもと全国で初めて「貯留機能保全区域」が奈良県により指定されました。

貯留機能保全区域

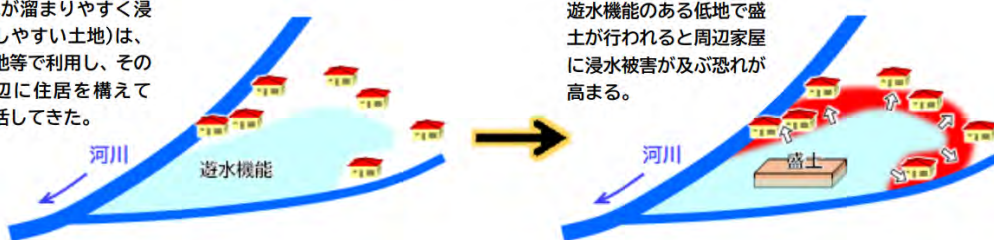


特定都市河川浸水被害対策法が令和3年5月に改正され、新たに土地利用対策として貯留機能保全区域制度が創設されました。「貯留機能保全区域」とは、その土地が元来有している遊水機能(貯留機能)を可能な限り保全していくことを目的としており、浸水被害の拡大を抑制する効用があると認められる区域を「貯留機能保全区域」として県が指定することができる制度です。

【遊水機能保全の必要性(イメージ)】

遊水機能のある低地(水が溜まりやすく浸水しやすい土地)は、農地等で利用し、その周辺に住居を構えて生活してきた。

遊水機能のある低地で盛土が行われると周辺家屋に浸水被害が及ぶ恐れが高まる。



貯留機能保全区域に指定された区域では、

- 規制:** 盛土等の貯留機能阻害有為を行おうとする場合は「届出」が必要になります。また、知事は必要に応じて助言又は勧告を行うことができます。
- 支援策:** 固定資産税等について、指定後3年間、標準課税を市町村の条例で定める割合に軽減します。

全国初の貯留機能保全区域指定を記念した式典が開催されました！！

全国初の「貯留機能保全区域」の指定を記念した式典が開催され、記念石碑の除幕や区域指定にご協力いただいた地元の方への感謝状の贈呈が執り行われました。

記念石碑の除幕

祝 大和川流域 貯留機能保全区域指定 記念式典

現地を中継した両町同時の除幕式を実現



- 日 時: 令和6年8月7日(水) 10:00~10:40
- 場 所: 奈良県中和土木事務所 101会議室
- 参加者: 23名+報道機関3社

【災害が発生した時の準備のために】



流域治水アンバサダーと作る！マイ・タイムライン講習会を実施しました！

大和川河川事務所は、奈良県と田原本町の共催により、昭和57年8月洪水などで浸水被害が発生している田原本町にお住まいの住民を対象に、マイ・タイムライン講習会を開催しました。講師には流域治水アンバサダーの澤麻美氏（気象予報士）をお招きし、マイ・タイムライン作成方法の説明や最近の気象災害や情報の活用方法を講演していただきました。

講習会の様子



○日 時：令和6年9月22日(日) 10：00～12：00
○場 所：田原本町社会福祉協議会大ホール
○参加者：53名（田原本町住民）



マイ・タイムラインの作成に用いた「逃げキッド」

「逃げキッド」のダウンロードは ←こちらから

国土交通省 マイ・タイムライン (mlit.go.jp)

参加者の感想

- 風水害のタイムラインも大変勉強になりました。こういった準備があれば、地震時にも役立つことがあると思います。備えることが出来ると思います。
- 在宅避難が良いのか？避難所への避難した方が良いのか？迷うが、どの場面で避難所へ行けばよいのか、自身の中で明確にする必要がある。
- 避難先へのルートが自宅より浸水しやすいエリアを通る必要がある場合は、避難するべきかどうかの判断が難しいのではないかと思います。
- 今後もこの様な講習会を実施してほしい。
- タイムラインでさらに自身の行動すべき事項などを作成したい。



気象予報士 澤麻美氏

マイ・タイムラインの作成
(気象予報士 澤麻美氏)

大和川学習交流と水辺活動体験会を実施しました！

8月16日(金)に大和川河川事務所庁舎で、大和川学習交流と水辺活動体験会を実施しました。「大和川を守る 流域治水とは」と題した講義を通じて、水害やみんなで取り組む「流域治水」について知っていただきました！

大和川河川事務所では、住民の皆さまの「水害の自分ごと化」の普及に向けて取り組みを進めています



講義の様子

